

自由な趣味の会 活動記録

講座名「書道の会」

本日 課題 と宿題

1. 年月日、天候、活動人員、時間等

月・日(曜)	天候	気温(°C)		活動人員 (午前/)
		最高	最低	
2018年8月27日(月)	晴	33	27	6 6



2. 本日の参加者と場所と時間

時間	場所	参加者
10時～13時30分	KSC 第七教室	土井・長谷川・佐伯・前田・道満 欠席: 鬼村・伊谷。

活動概要 (活動写真は必要)

ご挨拶：藤澤講師

書道教室に入会される方はいろいろな思いがごありの事と思います。きれいな字を書きたい、漢字知識を得たい、書を楽しみたい！そして、書道は心の浄化、瞑想しながら、気を整え自身に向かい合える、また、日本独自の美しい心や豊かな精神を深く見直すきっかけになるのではないのでしょうか。高齢化時代 やがて外出が難しい、家に居ながら、趣味として継続できるのには書道は最適です。教室は月1回開催ですが、課題を提供させて、**書を通じて皆さまと大いに楽しみましょう。**

活動概要

①土井委員から

講師は読売書法幹事、新書派幹事などをされている国際10期の藤澤淑子さんと、今回は5名の参加者でスタートしました。既に数名の参加希望者もおられますがまずは小教での活動になりました。

書道の会活動：はじめに筆の持ち方から開始し、筆による文字の書き方の基本として本日の課題。

②本日書課題 藤澤講師の添削

課題第一 “十 人”(道満書) 課題第二 “神 秀”(道満書)

講師添削風景



③練習

練習の開始では上記の基本の漢字を皆さん何枚も書いた後一人ひとりが講師に添削してもらいました。

文字は単純に見えるが基本に忠実に書く事は、なかなか難しい、しかも集中力が何より大切に思った。

引き続き“神 秀”の文字にチャレンジして、講師には一人ずつ自分の書えを添削をして頂く。

④感想

書道の難しさ思い知り・練習をしないと向上などないことも知った書道だった。

60歳の手習いではなくて、70歳、80歳の手習いで書道の楽しみを少し味わいました。

これからは、教室は勿論のこと、家庭でも練習を重ね、上手な筆字を書きたいと思う次第です。



⑤その他

*会費1回、一人400円を徴収し、講師の交通費、会の活動に使用する。

*今後、長期的に実施日を固定について、土井一藤澤講師で 実施日案をまとめる。